少しの傾斜でも車いすでまっすぐ進むのは困難

住みよいまちをめざして

柳川市バリアフリー点検活動

４月 24 日、市柳川庁舎周辺の道路や市民会館などの避難施設で、バリアフリー点検活動が行われました。

この日参加したのは、県脊髄損傷者連合会や市身体障害者福祉協会のメンバー、市職員など 33 人。5 班に分かれて、道路では歩道の幅や段差、障害物がないかどうかなどを確認し、避難所施設ではトイレや駐車場などを点検しました。

点検後の報告会では「市民会館のトイレが狭くて使いづらい」「歩道の段差が大きい」などの意見が出されました。

藤色のカーテンに包まれてうっとり

中山大藤まつり

４月 19 日から５月６日までの期間、樹齢 300 年の藤の名所、中山熊野神社と立花いこいの森で中山大藤まつりが開催され、多くの人でにぎわいました。

訪れた人たちは、藤棚の下でお弁当を広げたり、写真を撮ったりと藤の美しさを堪能。中山ソーランの披露や投げもち、市出身の田口悌治さんによるジャズ・ライブなどイベントも目白押しで、地元中山地区の清楽寺が出所とされる金銅板両界曼荼羅も展示されました。また、28 日には、中山小学校の児童が藤見給食を楽しみました。

各中学校の生徒会長６人が代表で受け取った

やっぱり“福岡のり”が一番おいしい

県有明海海苔共販漁連からプレゼント

福岡県有明海海苔共販漁連（黒田忠記会長）は、発足２周年を記念して、４月 23 日、市内の中学生に焼きのりをプレゼントしました。

これは、地元の福岡のりのおいしさを知ってもらうためのキャンペーンの一環。１袋に２枚半入った焼きのり 2326 袋が贈られました。黒田会長から「大人になってもこの味を忘れないでほしい。家庭でおいしく食べてください」と手渡されると、生徒は「のりはしょうゆをつけてご飯と食べるのが一番おいしい」と喜んでいました。

みんなで楽しいひとときを

第 100 回甲斐病院サロンコンサート

毎月第１金曜日に甲斐病院（甲斐保院長）で行われているサロンコンサートが５月２日、100 回目を迎えました。これは自発性を引き出し、協調性を養うという音楽療法の一環として行われているもの。100 回記念ということで、いつもより多い約 200 人の聴衆は、歌と三線、マジックなどを楽しみました。甲斐院長は、「コンサートを通して精神科に対する偏見をなくしたい」と話していました。次回は、６月２日、午後２時からです。どなたでも参加できます。

三線の音色と歌に癒された

小学生も大人顔負けの吟詠を披露

日本の心を詠い継ぐ

柳川吟詠連合会創立 35 周年記念大会

柳川吟詠連合会（荒巻一二三会長）の総会・創立 35 周年記念吟詠大会が、４月 29 日、柳川農村環境改善センターで行われました。

同会は、１市２町が合併する以前から行政の枠を超えて、連合会として共に活動を続けており、現在の会員は約 150 人。この日は、総会、記念式典に続き、小学生をはじめとする会員が吟詠を披露。会員は、日ごろの練習の成果を発揮するとともに、さらに吟道に励んでいこうと、決意を新たにしていました。

市民のひろば

ヒトツバタゴ（なんじゃもんじゃの木）